

カウントダウン・プログラムの展開イメージ



基礎づくり

発展

24 ~ 26 年度

27 ~ 28 年度

カウントダウン・プログラム策定

27 年度末

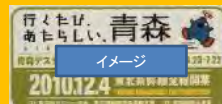
新函館(仮称)開業

情報発信と気運醸成

- ◆クロスメディアの効果的活用
 - ・開業PR総合WEBサイトの開設 など



- ◆統一テーマ等を掲げた気運醸成
 - ・統一テーマ公募決定
 - ・キャッチフレーズ、ロゴマーク公募決定 など



- ◆開業イベント・カウントダウンイベントの実施
 - ・カウントダウンボード設置、除幕式
 - ・〇〇日前イベントの実施 など



地域間連携の拡大

- ◆津軽海峡交流圏の形成
 - ・北海道・青森県連絡調整会議
 - ・津軽海峡交流圏形成ワークショップ開催 など



- ◆東北地域との連携・交流促進と気運醸成
 - ・北日本交流連携フォーラム(仮称)の開催など



- ◆広域観光の推進
 - ・北日本広域観光ルートの検討 など



交通ネットワークの形成

- ◆二次交通アクセスの充実
 - ・交通・観光事業者、行政機関等による連絡調整会議の設置 など



- ◆総合的な情報案内機能の充実
 - ・停車駅等における総合的な交通情報案内設備の設置 など



- ◆交通ネットワークの基盤整備
 - ・高速道路・アクセス道路網の整備促進 など



I
情報戦略

”情報発信と
気運醸成”

- 観光客誘致の集中キャンペーンの展開
- 情報発信の充実・強化

1 観光客誘致の 集中キャンペーンの展開

取組の方向性

北海道新幹線新函館（仮称）開業に向けて、切れ目なく北海道の魅力を発信するとともに、気運を盛り上げるため、観光客誘致の集中キャンペーンやイベントを実施します。

主な取組

■ 『開業イベント・カウントダウンイベント』の実施



北海道新幹線の開業が近いことを道内外にPRし、開業に向けた気運を盛り上げるため、関係機関と連携したイベント等を実施します。

- 開業3、2、1年前イベントの実施
- 開業カウントダウンボードの設置、除幕式
- 開業カウントダウンイベントの実施
(開業〇ヶ月前及び開業〇〇日前記念イベント)
- 首都圏や東北地域等への集中観光キャンペーンの展開
- 既存イベント等を活用した開業PRの実施

■ 統一テーマ等を掲げた気運醸成



北海道新幹線に対する関心やイメージを高めるため、親しみやすい統一テーマやキャラクター等を公募により決定し、道内外への情報発信に積極的に活用することより、開業に向けた気運醸成を図ります。

- 統一テーマ（スローガン）の公募・決定
- キャッチフレーズ、ロゴマーク、イメージキャラクター（マスコット）の公募・決定
- ノベルティグッズ等の作成、PR活動（キャラバン）の実施
- 首都圏や東北地域等への集中キャンペーンでの活用
- 「北日本交流連携フォーラム（仮称）」の開催

■ 開業記念事業（イベント・キャンペーン）の実施



“北海道新幹線時代”の幕開けとなる開業日当日に記念行事やイベントを開催するとともに、開業効果を最大限に高めるため、開業1年目に関係機関と連携した集中的な大型誘客キャンペーンを実施します。

【開業記念行事】

- 「新幹線出発式」の開催
- 「開業記念フォーラム」の開催
- 「しゅん功開業式」及び「祝賀会」の開催
- 「3セク鉄道出発式」の開催

【開業記念イベント・キャンペーン】

- 「デスティネーションキャンペーン」による誘客促進
- 各方面と連携した記念イベント（春・夏・秋・冬の連携イベント）の実施
- 大都市圏におけるテーマやターゲットを絞った観光キャンペーンの展開
- 開業1周年記念イベントの開催

■ 木古内駅のデザイン



■ 新函館（仮称）駅のデザイン



2 情報発信の充実・強化

取組の方向性

インターネットやテレビ、映画などの様々なメディアを効果的に活用し、自然・食・文化・歴史等の北海道の魅力（北海道価値）を国内外に発信するとともに、首都圏等での情報発信や企業との連携によるPR等を充実・強化します。

主な取組

■ クロスメディアの効果的活用



道内の様々な情報を収集・整理し、北海道の魅力を積極的に国内外に発信します。

- 開業PR総合WEBサイトの開設
- 「広報誌ほっかいどう」、「北海道庁インターネット放送局」、「北海道庁広報ツイッター」等の活用
- フェイスブック等を活用した情報交換

■ 首都圏等での情報発信強化



首都圏のアンテナショップや東北地域などでの情報発信を強化します。

- 「北海道どさんこプラザ有楽町」での情報発信強化
- 「北海道どさんこプラザ札幌店」と青森県のアンテナショップとの協働
- 「道人会」など道外在住者のネットワークとの協働

■ 道内外企業との連携によるPRの充実



道内外の企業等と連携することにより情報ネットワークを強化します。

- 海外進出道内企業や包括連携企業などとの連携によるPRの充実
- コンビニでの地域開発商品の販売等タイアップ事業の拡充

■ 『観光地域プラットフォーム』の構築

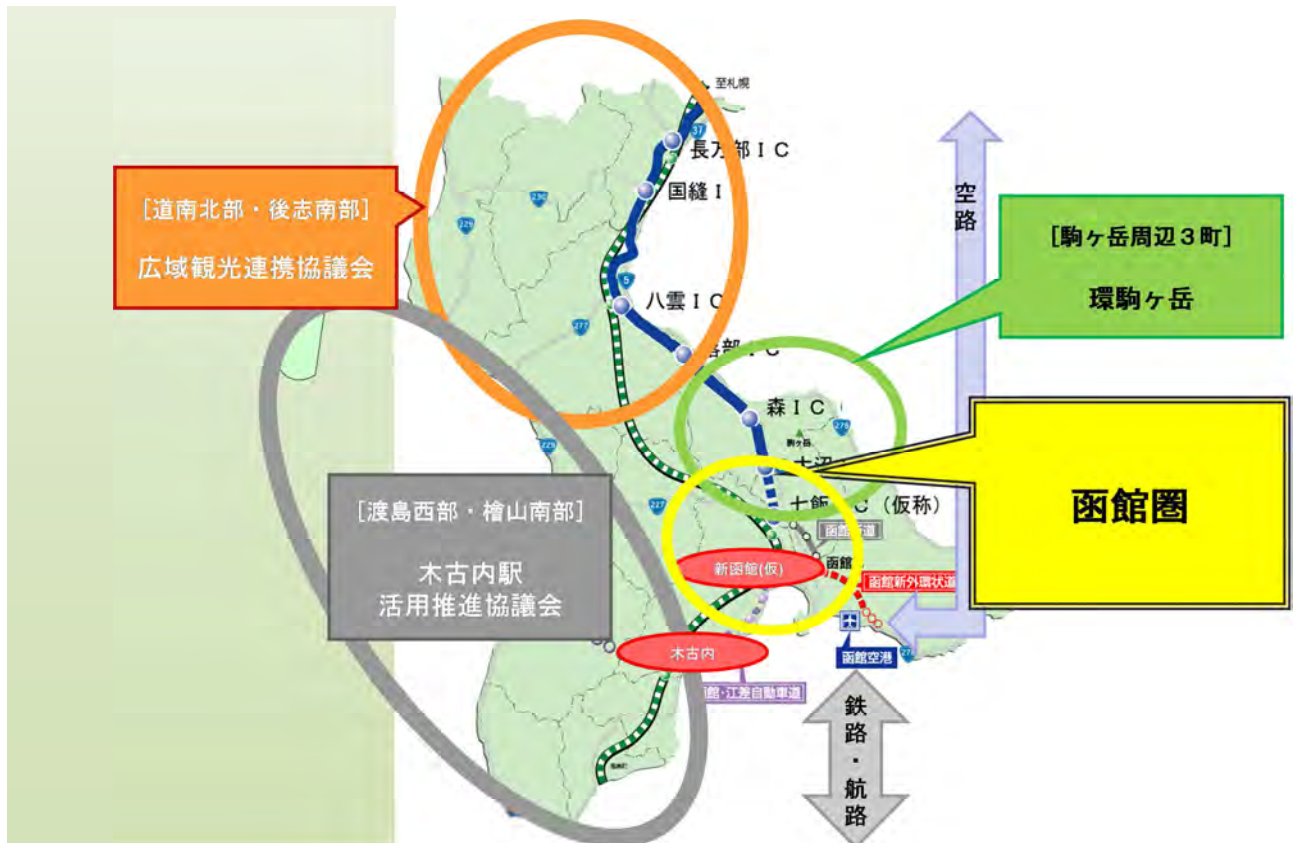


地域の資源を活用した着地型観光メニュー商品の開発や、広域的な観光情報の提供などを行う「観光地域プラットフォーム」の構築を進めます。

- 着地型観光メニュー商品の企画・販売
- 各エリアが連携した観光情報の提供

■ 道南地域における観光地域プラットフォーム戦略

新函館（仮称）開業を機に来訪される多くの観光客を対象とし、長期かつ何度も来訪してもらえるように、プラットフォームの企画・提案力と、ネットワークの強化を図ります。



II
連携戦略

”地域間連携の
拡大”

- 広域観光の推進
- 東北地域との交流の拡大

1 広域観光の推進

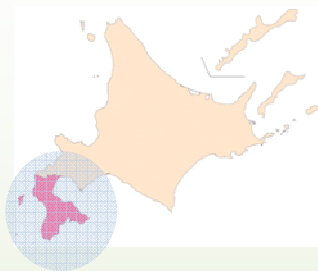
取組の方向性

道南地域の「食・文化・歴史」など観光資源の再発見と磨き上げ、新たな発掘を進め、「道南周遊観光圏」の形成を図るほか、後志・胆振地域等の道内観光地を視野に入れた広域観光を推進するための取組を進めます。

主な取組

■ 『道南周遊観光圏』の形成

道南地域において地域の創意工夫により魅力を高める取組を実施するとともに、地域が相互に連携し、魅力ある「観光圏」の形成を進めます。

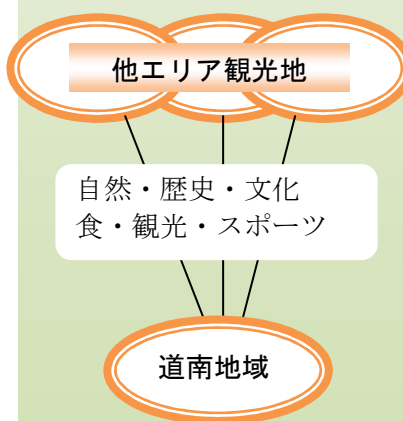


- 体験観光・交流プログラムの充実に向けた取組の促進
- 魅力あふれるイベントの実施
- 観光地域プラットフォームの構築とネットワーク化
- 道南周遊広域観光ルートの磨き上げ

[広域観光ルートの例]

- ▽松前・江差・上ノ国など「歴史」をテーマにした道南西部ルート
- ▽大沼公園・遊楽部川など「自然」をテーマにした道南北部ルート

■ 道南地域と道内観光地を結ぶ広域観光ルートの形成



道南地域と後志、胆振地域等の道内観光地が連携し、旅行者のニーズに対応したテーマやストーリー性のある「広域観光ルート」の形成を進めます。

- 道南地域と道内観光地を結ぶ広域観光ルートの検討
- 新幹線駅からの観光地までの二次交通アクセスの充実

[広域観光ルートの例]

- ▽湯の川・洞爺湖・登別など「温泉」をテーマにした道南・胆振ルート
- ▽函館・ニセコ・ルスツなど「冬季観光」をテーマにした道南・後志ルート
- ▽函館・森・伊達など「縄文文化」をテーマにした道南・胆振ルート

■道南地域を中心とする主な観光地・観光資源（例）



2 東北地域との交流の拡大

取組の方向性

道南地域と強いつながりをもつ青森県をはじめ、東北地域と様々な分野において一層の連携・交流の促進に取り組むほか、情報の共有・発信の充実に努めるなど、広域連携の強化を図ります。

主な取組

■ 『津軽海峡交流圏』の形成



道南地域を中心とする北海道と地理的・歴史的・文化的に強いつながりをもつ青森県とが一体となり、自然や特色ある伝統文化などの地域資源を積極的に活用するなど、連携・交流による取組を推進します。

- 「津軽海峡交流圏形成プロジェクト」の実施
- 「津軽海峡交流圏形成ワークショップ」の開催
- 「北海道・青森県連絡調整会議」等の開催
- 広域観光ルートの検討
- 既存観光資源の連携（例：四季折々のイベント連携）

■ 『北日本広域観光ルート』の形成



国内外から誘客を図るため、北海道・東北地域が有する魅力ある観光資源を有効に活用し、観光地と新幹線駅、空港などを結ぶ「北日本広域観光ルート」の形成を目指します。

- 北日本広域観光ルートの検討
- 東北各県と連携した共同観光キャンペーン等の検討

〔観光資源の例〕

- ▽ 「世界遺産（平泉、白神山、知床）」
- ▽ 「北日本の歴史（縄文文化、アイヌ文化、幕末・明治維新、開拓など）」
- ▽ 「北海の贈り物（郷土料理、いか、干シアワビ、ナマコ、フカヒレなど）」
- ▽ 「日本の冬（雪景色、スキー、雪祭り、地吹雪体験など）」
- ▽ 「北の名湯（登別、湯の川、酸ヶ湯、花巻、鳴子など）」
- ▽ 「祭り（YOSAKOI ソーラン祭り、ねぶた祭、七夕まつり、竿燈まつりなど）」

※いわゆる「ゴールデンルート（例：開空～京都～富士山～秋葉原～成田）」のよう
に北海道と東北地域を結ぶ広域観光ルートの形成を目指すもの

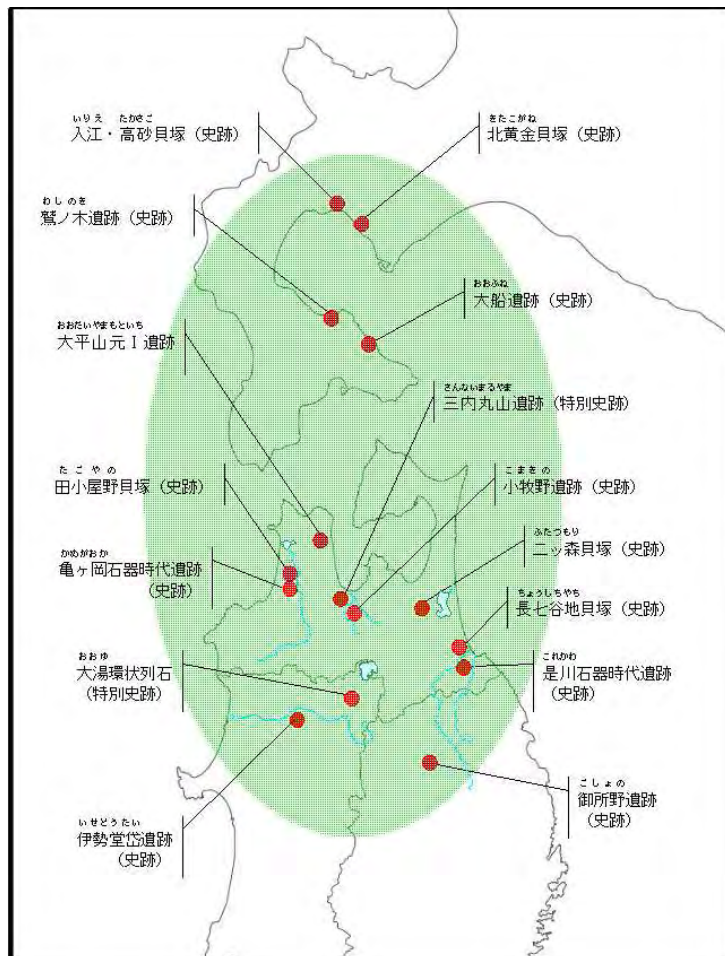
■ 東北地域との連携・交流促進と気運醸成



北海道と東北地域との様々な分野における連携・交流を促進するとともに、両地域が連携して魅力を発信するなど、気運醸成に向けた取組を推進します。

- 「北日本交流連携フォーラム（仮称）」の開催
- 北海道・北東北の「縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組など、歴史や文化をテーマとした地域間交流の推進
- 東北自動車生産拠点のサプライチェーンをターゲットとして、ものづくり産業の参入、誘致の取組を連携して促進
- 北海道と東北各県との広報連携

■ 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」



III
交通戦略

”交通ネットワークの
形成”

- 新幹線とつなぐ二次交通ネットワークづくり
- 交通ネットワークの基盤整備

1 新幹線とつなぐ 二次交通ネットワークづくり

取組の方向性

新幹線駅から道内の観光スポットなどへ快適・スムーズに移動できるよう、公共交通機関との乗り継ぎの円滑化や、情報案内機能の充実を図るなど、新幹線利用者の利便性の向上を図ります。

主な取組

■ 二次交通アクセスの充実



新幹線駅から観光地や主要都市などへ快適に運ぶ交通アクセスの向上に向け、鉄道、バス、タクシー等、各交通事業者と連携しながら、利用者にとって便利な交通体系の整備について検討します。

- 交通・観光事業者、行政機関等による連絡調整会議の設置

【検討内容】

- ・ 新幹線の運行本数の充実
- ・ 在来線（JRや3セク鉄道）との接続利便性確保
- ・ 観光客向け特別列車の運行
- ・ 観光地や主要都市までのバス路線の開設
- ・ 観光地を巡る周遊バス（シティツアーバス）の運行
- ・ 乗り捨てレンタカー制度の導入

■ 総合的な情報案内機能の充実



観光客が安心して快適に観光をするために、誰もがいつでも容易に利用できる観光情報案内機能などの充実を図ります。

- 停車駅等における総合的な交通情報案内設備の設置
- ホームページや携帯端末を利活用した交通情報の提供
- 観光地や宿泊施設等に関する充実した情報案内

2 交通ネットワークの基盤整備

取組の方向性

北海道を訪れる観光客が円滑に移動できるよう、高速道路等のアクセス整備を促進するほか、航空・海上ネットワークの充実に取り組みます。

主な取組

■ 高速道路・アクセス道路網の整備促進



新幹線駅と主要都市や観光地とのアクセス向上を図るため、道路網の整備を促進します。

- 高速自動車国道の整備
- 一般国道自動車専用道路の整備
- 地域高規格道路の整備
- 新幹線駅アクセス道路の整備
- 新幹線駅から周辺の観光地等へアクセスする道路の整備

■ 航空・海上ネットワークの充実



道内外との連携と交流を支える航空・海上ネットワークの維持・充実のための取組を進めます。

- 道内路線や道内空港と道外主要都市とを結ぶ航空路線の維持・充実と利便性の向上
- 北海道と本州を結ぶフェリー航路の維持・充実

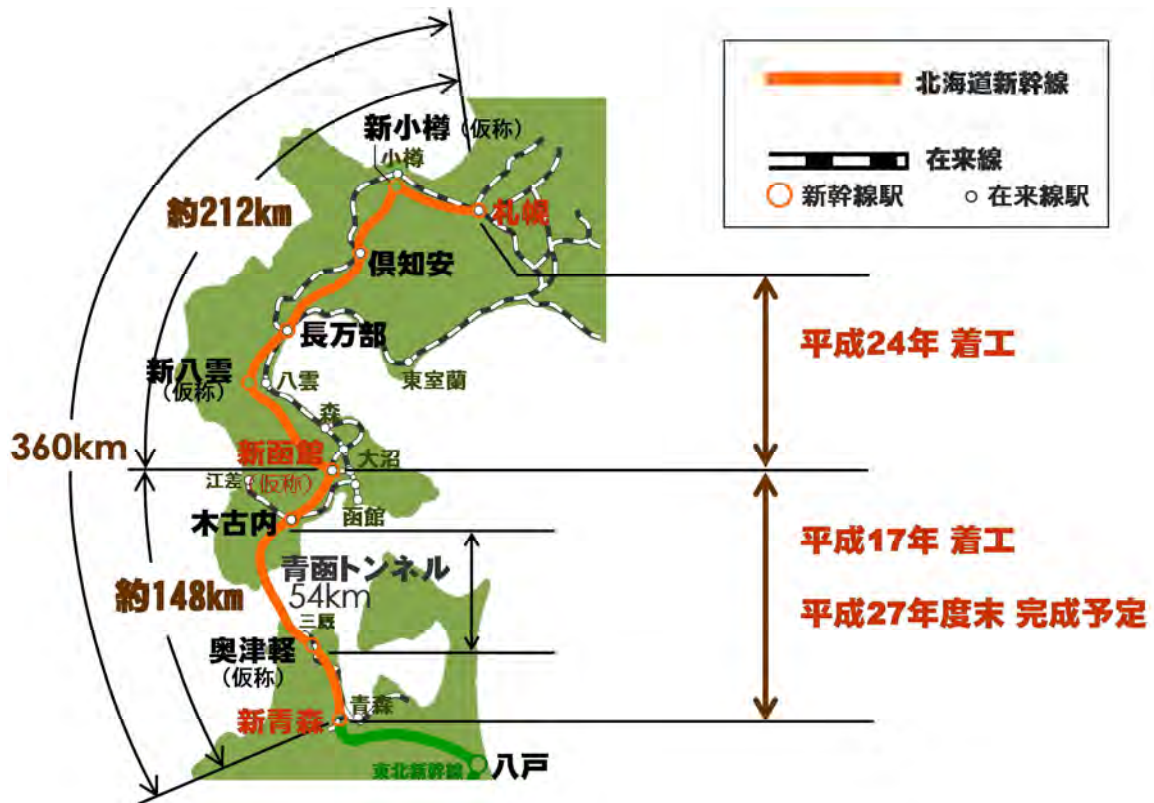


資

料

- 北海道新幹線の概要
- 北海道新幹線の輸送力
- 北海道新幹線の所要時間
- 他地域の開業後の利用状況

北海道新幹線の概要



| 区間 | 新青森駅～新函館（仮称）駅間 | 新函館（仮称）駅～札幌駅間 |
|-------|---|--|
| 工事延長 | 約 148km | 約 212km |
| 経過地 | 青森市・蓬田村・外ヶ浜町・今別町・中泊町・福島町・知内町・木古内町・北斗市・七飯町 | 北斗市・厚沢部町・八雲町・長万部町・黒松内町・蘭越町・豊浦町・ニセコ町・倶知安町・仁木町・赤井川村・余市町・小樽市・札幌市 |
| 駅 | 新青森駅（既設）・奥津軽（仮称）駅・木古内駅・新函館（仮称）駅 | 新函館（仮称）駅・新八雲（仮称）駅・長万部駅・倶知安駅・新小樽（仮称）駅・札幌駅 |
| 主な構造物 | <ul style="list-style-type: none"> ● トンネル 津軽蓬田トンネル 6,190m 札笇トンネル 1,235m 幸連トンネル 1,410m 泉沢トンネル 1,720m 渡島当別トンネル 8,073m 新茂辺地トンネル 3,355m ● 橋りょう 大谷地線路橋 185m 木古内川橋りょう 164m 茂辺地川橋りょう 186m 大野川橋りょう 164m | <ul style="list-style-type: none"> ● トンネル 村山トンネル 5,265m 渡島トンネル 26,470m 野田追トンネル 8,170m 立岩トンネル 16,980m 内浦トンネル 15,560m 昆布トンネル 10,410m 羊蹄トンネル 9,750m ニツ森トンネル 12,630m 後志トンネル 17,975m 手稲トンネル 18,750m ● 橋りょう 遊楽部川橋りょう 245m 尻別川橋りょう 340m 南俱登山川橋りょう 210m |

北海道新幹線の輸送力（新函館(仮称)開業時）



● 輸送力 約 12,500 人/日
 （片側：新函館（仮称）駅到着時）

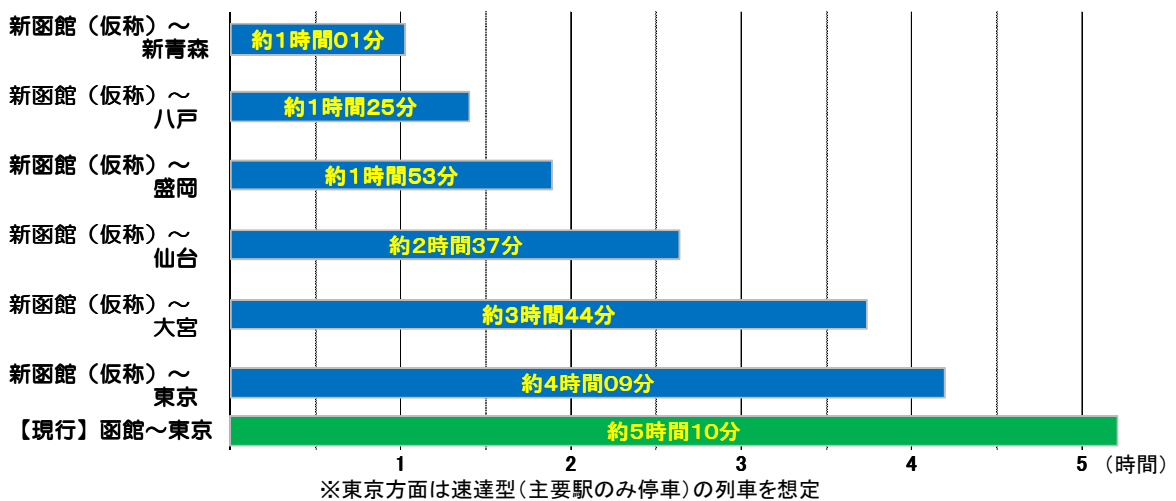
◆ 輸送力は次の資料をもとに北海道新幹線推進室が試算

運行本数 17 本 × 一編成定員 731 名 = 12,427 人

- 東京～新函館（仮称） 15 本
 （速達型 8 本、緩行型 7 本）
- 仙台～新函館（仮称） 1 本
- 盛岡～新函館（仮称） 1 本
- 東北新幹線
 「はやぶさ（E5系）」
 定員 731 人/10 両編成

※運行本数は「第9回整備新幹線小委員会（H24.3.21開催）」別紙資料による。
 ただし、開業後の運行本数は、営業主（JR旅客会社）が決定。

北海道新幹線の所要時間（新函館(仮称)開業時）



※ 所要時間は、「第9回整備新幹線小委員会（H24.3.21開催）」別紙資料による。（現行の函館～東京間は北海道新幹線推進室調べ）
 ただし、開業後の運行ダイヤは、営業主（JR旅客会社）が決定。

他地域の開業後の利用状況

北陸新幹線「あさま」

高崎～長野間



(資料) 東日本旅客鉄道株式会社「JR東日本ニュース」、国土交通省「鉄道輸送統計年報」より作成

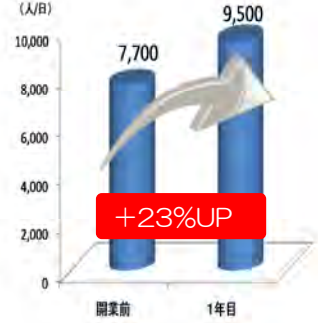
東北新幹線「はやて」

盛岡～八戸



(資料) 東日本旅客鉄道株式会社「JR東日本ニュース」より作成

八戸～新青森



(資料) 東日本旅客鉄道株式会社「プレスリリース」より作成

九州新幹線「つばめ」

新八代～鹿児島中央



(資料) 九州旅客鉄道株式会社「JR九州プレスリリース」、国土交通省「鉄道輸送統計年報」より作成

博多～熊本



(資料) 九州旅客鉄道株式会社「JR九州プレスリリース」、より作成

熊本～鹿児島中央

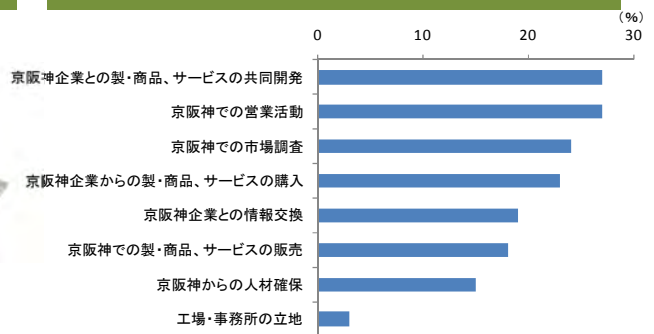


関西・鹿児島県の旅客流動



(資料) 熊本県「九州新幹線開業効果と二次アクセスについて」より作成

ビジネス交流の増加



(資料) 九州新幹線を活用した西日本活性化研究会（事務局：福岡商工会議所、大阪商工会議所）「九州・京阪神の企業間交流に関するアンケート」より作成

新幹線開業後、4ヶ月半で7万8千人増加
(前年同期比 17%増)

九州新幹線開業を契機に、
九州企業と京阪神企業との交流が増加

北海道新幹線時代の幕開けに向けた

「カウントダウン・プログラム」

北海道総合政策部新幹線・交通企画局新幹線推進室

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL : 011-231-4111 FAX : 011-232-4643

URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>